

みんなのための公園整備を

川畑京子 議員

問 清見第1公園（交通公園）に市民のニーズに対応した幼児用トイレ、多目的トイレを新たに設置してはどうか。

答 今年度多目的トイレへの改修を行う。幼児用トイレの設置については多目的トイレ内において、兼用便座にするなど

問 西中央公園に健康遊具の設置を。

答 市では今年の1月に「元氣・健康都市宣言」を行い、元氣・健康による好循環のまちを目指している。高齢者が気軽にストレッチをしたり筋肉を鍛えたりできることから、市民の健康増進に役立つもの



清見第1公園のトイレ

と認識しており、公園のリニューアルを計画する際に検討を行う。

関越自動車道東西地区の雨水対策

大築 守 議員

問 関越自動車道東西地区の雨水対策は。

答 砂川堀1号、2号雨水幹線の負荷軽減、事業費縮減のため、大井中学校付近をはじめ、3カ所の雨水調整池整備を計画している。

問 ほかに調整池の計画場所は。

答 平成31年度までに関越自動車道西側地区に2カ所の整備を計画している。

問 川越江川都市下水路に、区域外流入している幹線は。

答 砂川堀1号、2号幹線分が流入。調整池を整備することで、下流の元

福岡地域への流入量が減少する。

資料館のあり方

問 上福岡歴史民俗資料館・大井郷土資料館の活動状況は。

答 事業として小学生の社会科体験学習や企画展などを開催している。

問 今後の資料館の運営に新たな考えは。

答 資料の収集・保存・展示という待ちの姿勢から、他の施設等を利用し

た攻めの姿勢に転じて、施策の展開を行うことも検討する。

下福岡地域に簡易な橋を

問 新伊佐島橋への道路開通に伴う橋の隅切りを。

答 工期の関係で難しい。

問 旧福岡高校と運動公園の間に橋の新設を。

答 橋の新設は難しいが、旧福岡高校跡地の利用とあわせて研究していく。

問 期日前投票所を駅やスーパーマーケットなど人の集まる場所に増設すると投票率の大きな向上が見込まれる。他市では大きな成果を上げているが、本市の今後の予定は。

答 投票率向上対策として有効であり、先進市の調査・研究を進める。

図書館の更なるサービス向上を

問 佐賀県武雄市の図書館などで成功している収益事業を実施し、その収益を運営に充てる手法により更なるサービス向上を。

答 喫茶「歩歩」の営業終了後からのカフェラウンジによる収入、託児サービスなどの収入を図書の購入などに充てることを検討中である。なお、開館時間は夜



武雄市図書館

地域公共交通政策

谷 新一 議員

問 公共交通に関する市民意識調査について無作為抽出方法とされているが、調査対象の選定で考慮した点は何か。

答 65歳以上の方が含まれる世帯を対象とした。

緑の保全管理と創出

問 街路樹や公園樹木等の

の保全管理と近隣住民への対応は。

答 緑の大切さを理解してもらうとともに、定期的な剪定作業を行い、適切な管理に努めていく。

問 緑被率アップに向けて強化すべき取り組みは何か。

答 市街地の緑を増や

し、郊外部での緑を保全していくことが重要。市街地については、民間開発などにおける緑化推進を指導していく。

不登校児童・生徒への支援

問 中学校卒業後の実態把握は。

答 現在、調査は行っていない。今後、中学校と高校の情報交換等、連携ができるような組織体制の整備を検討する。

問 生活困窮者自立支援制度の学習支援や民間支援団体など、横との連携は。

答 教育委員会をはじめ教育現場や地域の支援団体、施設等と幅広い連携が必要であり、現在調整を進めている。



労働行政の拡充を

床井紀範 議員

問 ふるさとハローワークの具体的な開設時期や場所は。

答 年度内に、本庁舎増築棟2階に開設する。

マニーマート建設地周辺の交通安全対策

問 マニーマート建設地周辺の鶴ヶ舞一・二丁目

や福岡武蔵野の交通安全対策の方針は。

答 路側線を整備したほか、事業者には交通安全対策のお願いをしている。

元福岡地域の雨水対策の推進を

問 新河岸川下流部の改修事業の見通しは。

改修事業は平成48年度を目途に整備を行う。

サンロードのバリアフリー化

問 上福岡駅東口サンロードのベンチが古くなっている。ベンチの再整備や日よけの設置は。

答 地元商店会からベンチ設置に対する補助金の要望があるので、市として支援していきたい。日よけの設置は難しい。

福岡中央公園の整備

問 雨が降ると、福岡中央公園はぬかるみがひどい場所がある。園内通路の整備が必要では。

答 市道と同等には扱えないが、可能な範囲で対応したい。

問 公園内の出入り口は段差があり、車いすやベビーカーが入りづらい。改善を。

答 今後、出入り口の段差の解消を検討する。



雨の福岡中央公園

投票率を向上させ
市民の声を市政に

渡辺 大 議員

ボール遊びができる場所の確保を

8時まで延長となる。

問 ボール遊びのできる場所が少ないとの声をよく聞くが、公園内の仕切りの設置、学校の校庭開放、調整池の活用等により対応できないか。

答 子どもたちのボール遊びの場所の確保は、都市の抱える困難な課題だが、関係各課と連携して対応を検討していきたい。

本市上空の
自衛隊機飛来問題

新井光男 議員

問 自衛隊機に関する情報提供と、市民への十分な説明責任を。

答 飛行訓練として入間飛行場を中心に飛行するとき、本市上空を通過することはある。家屋等の密集地域の上空で、最も高い障害物の上端から300メートルの高度が最低安全高度と規定され

ており、特に規定外の低空飛行を行った経緯はないとのことである。

今後も入間基地と連絡を密にし、市民の不安解消に取り組む。

問 CV-22オスプレイに関する情報提供と市民への十分な説明責任を。

答 横田飛行場への配備計画は、平成29年後半までに3機、平成33年までには合計10機となっている。

横田飛行場周辺での飛行訓練は、既存の飛行経路を飛行するとした場合、本市は含まれていない。実際の飛行経路は運用に係ることであり、不明とのことである。

今後もし引き続き、埼玉県基地対策協議会等を通じて要望活動や情報収集を行い、住民への不安の解消や、安心して生活が送れるよう努める。